

「2019年度の活動報告・展示会」の発行にあたり

一昨年5月に「青山彩光苑の出発から、金沢駅、金沢市内」を取材し、「車いす目線から巡る金沢の旅 2018」の編集の作業をしていましたが、昨年、膀胱ろう(尿を出す管)が何度も抜け、病院通いが続き、ベットで安静にしているように言われ、編集作業が全くできませんでした。夏頃に泌尿器科の先生が抜けにくい管を見つけて下さり、車いすに乗れるようになり、パソコンや外出ができるようになり、その後は作業を再開できました。

原稿が仕上がり、印刷業者の「富山生きる場センター」に印刷、製本に出し「車いす目線から巡る金沢の旅2018」の冊子が仕上がったのは10月上旬でした。

今回、仕上がった冊子を受け取りと見学を兼ねて、10月にボランティアの友人に車いすに乗れるレンタカーを借り、富山市内で同じNPO法人が運営されている「自立生活支援センター富山」と「富山生きる場センター」へ訪問しました。訪問の折「自立生活支援センター富山」の近所にあるコーヒー店、富山で有名な蒲鉾屋へ立ち寄り、その後、松川(別名いたち川)にかかる橋から、川で泳ぐ鯉を撮影し「自立生活支援センター富山」に戻り、昼食後、「富山生きる場センター」へ向かいました。10数年ぶりに「富山生きる場センター」の皆さんと交流を行い、印刷が仕上がった「車いす目線から巡る金沢の旅2018」を車に乗せて帰りました。

今回は、「2019年度の活動報告・展示会」として「恵寿総合病院」「青山彩光苑」のご厚意で開催した「車いす目線から巡る金沢の旅 2018」の展示会、福祉まつりの様子、富山を訪問時に撮影しました「自立生活支援センター富山」「富山生きる場センター」、併せて新聞社からの取材の様子等を紹介させていただきます。

最後に、現在、世界中に流行している「新型コロナウイルス」が早く収まり、皆さまの日常生活が元に戻ることをお祈り申し上げます。

障害者支援施設「青山彩光苑」

利用者：桶屋 善一